

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 2日 更新

事務事業名		電算システム維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部
	施策	24 行財政改革の推進				所属課	企画課
	基本事業	85 情報化の推進				所属班	情報広報班
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 16	事業連番 11067	法令根拠
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)
						成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	電算システムが、安全かつ効率的に利用できるようにメンテナンスや管理を行う。合併時にシステムの入替をしている。平成18年2月の合併により、電算システムを導入し、システムを安定して運用するために開始した。開始時期に比べて、システムも多様化してきている。また、制度改正にともなう、影響度の確認や、今後の事業費の見込み等、各課からの統計資料の要望が多い。 H22年1月4日よりASP事業に移行し、本事業はH23度より電算システム運用事業に統合する。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①民間業者にシステム保守を委託し、運用管理を行う。②情報広報班の職員により、業務処理(システムの使用手法や帳票出力処理など)を行う。③毎朝システムに異常がないかの確認・点検を行う。④簡易プログラムの作成等により、各種資料を作成する。
【主な予算費目】	役務費、委託料
【意見や要望】	職員から使用中に画面が固まるなどの連絡がある。システムを動かしている一部のソフトで処理速度が少し遅いものがあり、その対象の業務担当者から処理速度を改善してほしいと要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) H23度より電算システム運用事業に統合し、本事業は廃止
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 電算システム運用事業に統合したための減
→ ア 情報系システムの保守対象業務 イ 総合行政システムの支援対象業務	件 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
電算システム(情報系システム・基幹系システム(総合行政システム))	→ ア 情報系システムの稼働数 個 イ 総合行政システムの稼働業務数 個
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・ 常時、障害なく利用できる。・ 各種資料(統計等)が取り出せる。	→ ア 情報系システム不具合・トラブル件数 件 イ 総合行政システム不具合・トラブル件数 件
* ③ 成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 常時、障害なくシステムが利用できたことが把握できる。システムのトラブルが前年度より減少することが望ましい。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込
① 活動指標	ア 件		3	3	3	3	0	0	0
	イ 件		73	74	74	76	0	0	0
② 対象指標	ア 個		3	3	3	3	0	0	0
	イ 個		73	74	74	76	0	0	0
③ 成果指標	ア 件		13	10	10	20	0	0	0
	イ 件		78	50	40	56	0	0	0
投資	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	65,193	65,566	63,493	48,634		
入費	(A) 事業費計	千円	65,193	65,566	63,493	48,634	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	596	580	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	771	712	596	580	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	2	0	0	0
	延べ業務時間	時間	3,052	2,882	3,000	250	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	12,208	11,470	11,940	1,030	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	77,401	77,036	75,433	49,664	0	0	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	電算システム維持管理事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 平成22年度に事業を統合する為、本事業は廃止。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成22年度に事業を統合する為、本事業は廃止。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 電算システム運用事業と統合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成22年度に事業を統合する為、本事業は廃止。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成22年度に事業を統合する為、本事業は廃止。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 住民サービスを安定して提供できるように維持管理体制を整えているので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成22年度に事業を統合する為、本事業は廃止。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>平成23年1月からASP事業への移行に伴い、本事業は電算システム運用事業へ統合する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						